

歳出科目 (P318～P319)	10 款 5 項 3 目	図書館費
------------------	--------------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
読書普及・自主活動事業	287	287	0

主な財源		主な経費	
諸収入	3	報償費	8
一般財源	284	需用費	247
		役務費	32

#### ○読書活動推進事業 180

##### 【目的】

市民が本とふれあう機会を設けるため、各種の取組を行うことにより、広く読書活動の普及を図る。また、上越市子ども読書活動推進計画（第3次）に基づき、子どもの自主的な読書活動を推進する。

##### 【4年度目標】

読書活動推進事業への参加者数：5,000人

（令和元年度：8,431人、令和2年度：3,817人、令和3年度見込み：4,500人）

##### 【実施内容】

おはなし会等の読書活動推進のための催しについては、会場設営の工夫や適切な定員数を設定するなど、引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意し、企画・実施する。

##### (1) こどもの読書週間及び読書週間事業の実施

全国的な読書活動の取組である、春の「こどもの読書週間（4/23～5/12）」と秋の「読書週間（10/27～11/9）」に合わせ、読書活動推進のための啓発活動を行う。

##### (2) 読書活動推進事業の実施

おすすめ本を年齢やテーマ別に紹介するブックリストを作成するほか、ボランティア団体と協力して行う定期的な絵本等の読み聞かせ（おはなし会）の実施、また、「図書館こども祭」など各館で季節や行事に合わせた催しを随時企画、実施する。

##### (3) 学校や公民館図書室等との連携

学校への団体貸出しや出張ブックトーク・おはなし会等の開催のほか、資料の活用に関する相談など、学校図書館と連携して児童生徒の読書活動を支援する。

また、図書館から離れた地域の利用者への公民館図書室を通じた貸出しや、市立図書館の本を公民館に配置するなど、引き続き公民館との連携・協力を図る。

##### (4) 図書館利用者登録の推進

イベント会場に出張登録窓口を設けるなど、市の関係部署や施設等と連携・協力し、利用者登録の拡大・読書普及啓発を図る。また、小学校に入学する新1年生に対して、図書館利用のガイドブックを配布し、登録と利用の促進を図る。

#### ○障害者サービス事業 107

##### 【目的】

視覚に障害がある方など、活字による読書が困難な方を対象とした資料を整備・提供し、

広く図書館サービスの利用促進を図る。

**【4年度目標】**

活字による読書が困難な方に向けた、資料の年間貸出タイトル数：580タイトル  
(令和元年度：707タイトル、令和2年度：589タイトル、令和3年度見込み：580タイトル)

**【実施内容】**

- (1) 録音図書の充実  
音声訳ボランティア団体との協働により、新規録音図書を50タイトル程度作製する。
- (2) サービスの提供と周知  
全国の点字図書館と協力し、利用者の希望する資料を広く提供する。  
また、活字による読書が困難な方への録音図書貸出のサービスを広報し、利用を促す。

歳出科目 (P318～P319)	10 款 5 項 3 目	図書館費
------------------	--------------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
高田図書館図書充実費	12,591	15,745	△3,154

主な財源		主な経費	
一般財源	12,591	需用費	11,875
		役務費	260
		委託料	412
		備品購入費	44

### 【目的】

暮らしの情報や課題解決、調査研究に役立つ様々な分野の図書館資料を収集・保存し、広く市民に提供する。

### 【4年度目標】

高田図書館、浦川原分館及び頸城分館の利用数

図書貸出者数：124,200人

(令和元年度：129,286人、令和2年度：112,451人、令和3年度見込み：117,000人)

図書貸出冊数：500,000冊

(令和元年度：514,821冊、令和2年度：450,838冊、令和3年度見込み：459,300冊)

### 【実施内容】

- ・図書館資料の収集及び保存

資料収集方針に基づく図書館資料の収集・保存に努め、所蔵資料の活用を図る。

- ・相互貸借の活用

所蔵していない資料は、新潟県立図書館や県内・外の図書館から借りて貸し出し、利用者の要望に応える。

また、市内の二つの大学図書館と連携し、各館所蔵資料の紹介や貸出しを行うなど、資料の相互活用を図る。

- ・新型コロナウイルス感染症への対応

コロナ禍において、放課後児童クラブでの時間を有意義に過ごしてもらえるよう児童書を増強し貸出しを行う。

<上越市立図書館資料収集方針> 平成4年10月1日制定  
平成30年5月1日改定

(基本方針) ※抜粋

上越市立図書館は、市民の基本的な権利の一つである知る自由を保障する機関として、市民の要求に基づき、教養、調査研究、レクリエーション、趣味、日常生活等に役立つ資料を積極的に収集する。また、市民の知的関心を喚起するような資料の収集に努める。

歳出科目 (P318～P319)	10 款 5 項 3 目	図書館費
------------------	--------------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
図書管理電算化事業	20,492	23,305	△2,813

主な財源		主な経費	
一般財源	20,492	需用費	826
		役務費	801
		委託料	6,144
		使用料及び賃借料	12,721

#### 【目的】

図書館サービスの正確化、迅速化を図るため、図書館システム及び端末を適切に維持管理する。

#### 【4年度目標】

インターネットによる図書館資料予約処理件数：63,700 件

(令和元年度：54,001 件、令和2年度：56,854 件、令和3年度見込み：60,700 件)

#### 【実施内容】

- ・図書館システムの維持管理

図書館資料の貸出しや予約、リクエスト対応などのサービスに支障が生じないよう、図書館システムを適切に維持管理する。

歳出科目（P318～P321）	10款5項3目	図書館費
-----------------	---------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
高田図書館管理運営費	81,947	72,811	9,136

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	43	報酬	29,316
財産収入	434	共済費	6,179
諸収入	179	旅費	1,598
一般財源	81,291	需用費	15,751
		委託料	14,526
		工事請負費	6,569

### 【目的】

市民の生涯学習活動の拠点施設として、高田図書館及び分館を適切に維持管理し、安全安心な読書環境を提供する。

### 【実施内容】

- ・高田図書館、浦川原分館及び頸城分館の利用者の安心と利便性に配慮した施設の維持管理を行う。
- ・高田図書館、直江津図書館、浦川原分館、頸城分館及び公民館図書室等を定期的に巡回し、図書館資料の配送を行う。
- ・コロナ禍であっても、安全に安心して図書館を利用できるよう、良好な利用環境の提供に努める。
- ・主な修繕等
 

高田図書館真空遮断器改修	5,588
高田図書館空調設備機器自動制御更新	924
高田図書館インターロッキングブロック修繕	660
- ・その他
 

高田図書館閲覧席用アクリルパネル購入 (新型コロナウイルス感染症対策)	355
--	-----

歳出科目 (P 320～P 321)	10 款 5 項 3 目	図書館費
--------------------	--------------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
直江津図書館図書充実費	5,259	5,767	△508

主な財源		主な経費	
一般財源	5,259	需用費	4,933
		役務費	187
		委託料	139

#### 【目的】

市民の多様な目的に応じた学習活動の拠点として、あらゆる分野の図書資料を収集・保存し、広く市民に提供することで、暮らしの情報や課題解決、調査研究に役立ててもらおう。

#### 【4年度目標】

- ・鉄道資料や郷土資料の充実を図るとともに、市民ニーズを踏まえた地域の情報基盤としての図書館サービスを提供する。
- ・直江津図書館利用数  
 図書・視聴覚資料貸出者数：79,800人  
 （令和元年度：82,237人、令和2年度：70,500人、令和3年度見込み78,000人）  
 図書・視聴覚資料貸出点数：290,000点  
 （令和元年度：298,669点、令和2年度：268,585点、令和3年度見込み288,000点）

#### 【実施内容】

- ・図書館資料の収集及び保存  
 資料収集方針に基づく図書館資料の収集・保存に努め、所蔵資料の活用を図る。
- ・相互貸借の活用  
 所蔵していない資料は、新潟県立図書館や県内外の図書館から借りて貸し出し、利用者の要望に応える。

歳出科目 (P 320～P 321)	10 款 5 項 3 目	図書館費
--------------------	--------------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
直江津学びの交流館管理運営費	68,103	85,795	△17,692

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3,000	一般財源	64,441
財産収入	477	報酬	23,614
諸収入	185	共済費	5,166
		委託料	12,148
		使用料及び賃借料	4,257
		負担金補助及び交付金	13,800

### 【目的】

市民の生涯学習活動や文化活動の支援を行うとともに、情報提供の場としての直江津学びの交流館・直江津図書館の適切な管理、運営を図る。

### 【4年度目標】

- ・集会や各種講座、音楽、スポーツ、読書等、利用者がより快適に活動できる場の提供に努める。
- ・入館者数：219,000人（新型コロナウイルス感染症の影響を考慮）  
（令和元年度：242,455人、令和2年度：175,419人、令和3年度見込み：198,000人）

### 【実施内容】

- ・主な施設維持管理経費

項目	金額	内容	
現業会計年度任用職員報酬	23,614	貸館業務：事務職3人（貸館受付及び使用料收受） 図書館事務：技術職12人（図書館業務及び補助）	
施設管理 委託料	総合管理業務	8,568	清掃・消毒業務、夜間受付業務等
	空調設備等機器 保守点検業務	1,788	定期点検（年2回） フロン排出抑制法に伴う簡易点検（3か月に1回）
	エレベーター 保守点検業務	1,043	2基のエレベーター定期点検（毎月1回）
使用料及び賃借料 （駐車場使用料）	3,300	当館前の立体駐車場に係る30台分の年間使用料	
共益費負担金	13,800	直江津駅前ビル管理組合共益費負担金	

提出課	文化行政課
-----	-------

歳出科目 (P 320～P 323)	10 款 5 項 4 目	博物館費
--------------------	--------------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
博物館管理運営費	34,110	38,641	△4,531

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	4,050	報酬	3,167
財産収入	38	共済費	324
諸収入	227	旅費	330
一般財源	29,795	需用費	12,289
		委託料	15,461
		使用料及び賃借料	1,254

当市の歴史・民俗等について調査研究し、その成果を展覧会や図録等の刊行物で市民に紹介するとともに、安全で快適な施設の維持管理を行う。

○企画展開催事業 4,562

【目的】

- ・歴史博物館における常設展示や企画展を通じ、郷土の歴史、文化を学ぶ場所と機会を提供することで、市民に郷土への関心や理解を深めてもらう。
- ・歴史・民俗資料等の鑑賞や学習の機会を提供し、子どもたちに郷土への愛着や理解を深めてもらう。
- ・郷土の歴史・民俗に関する資料の収集と調査研究を進め、その成果を展覧会や図録等の刊行物で市民に紹介するとともに将来に伝える。

【4年度目標】

- ・高田城跡という立地をいかし、地域の文化財等を活用して常設展示及び企画展等の事業を実施することで、地域の歴史学習の拠点として多くの市民や観光客が持続的に集う魅力ある施設とする。
- ・企画展Ⅰ「森成麟造—上越考古学の先覚者—」、企画展Ⅱ「文化財指定記念 日本スキ一の黎明」、企画展Ⅲ「探検！むかしの暮らし」を開催することにより、収蔵資料の価値付けを進め、市民が郷土の歴史に触れ、貴重な文化財を鑑賞する機会とする。
- ・令和3年度に市文化財に指定された297点のスキー資料について、調査研究の成果も合わせ目録として刊行し、市民へ紹介するとともに、目録に掲載されていない資料について台帳化を進める。
- ・入館者数：70,000人  
(令和元年度：82,741人、令和2年度：45,558人、令和3年度見込み：58,000人)

【実施内容】

- ・令和4年度展覧会開催予定

区分	内容
逸品展示 (収蔵品)	展覧会名：逸品展示「御所参内・聚楽第行幸図屏風」 会期：3月26日(土)～6月12日(日) 内容：寄託資料である「御所参内・聚楽第行幸図屏風」を3年ぶりに紹介する。



区 分	内 容
企 画 展	展覧会名：企画展Ⅰ「森成麟造—上越考古学の先覚者—」 会 期：7月2日（土）～8月28日（日） 内 容：夏目漱石の主治医を務めた森成麟造の生涯と、上越の考古学研究における業績を紹介する。
企 画 展	展覧会名：企画展Ⅱ「文化財指定記念 日本スキーの黎明」 会 期：9月17日（土）～12月4日（日） 内 容：市文化財に指定された日本スキー関係資料を中心に、黎明期の日本スキー界をけん引した上越の役割を紹介する。
企 画 展	展覧会名：企画展Ⅲ「探検！むかしの暮らし」 会 期：令和5年1月4日（水）～3月12日（日） 内 容：昭和から平成までの暮らしを民俗資料で紹介する。

・「続日本100名城」スタンプラリーを実施する。

○民俗資料整理事業 123

【目的】

将来に残すべき民俗資料の収集に努め、体系的に整理するとともに、適切な保存と活用を図る。

【実施内容】

岡沢拠点収蔵施設に収容した民俗資料を効率的に配置するとともに、新規に収集した資料の台帳作成を進め、適正に管理・活用していく。

○施設の維持管理 29,425

【目的】

歴史博物館、岡沢拠点収蔵施設及び黒岩拠点収蔵施設の適切な維持管理を行う。

【実施内容】

- ・収蔵品を適切かつ安全に保存するため、施設の環境を良好に保つ。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来館者が安全安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

【施設の概要】

開館時間	午前9時～午後5時（4月1日～11月30日） 午前10時～午後4時（12月1日～3月31日）
休館日	月曜日（休日の場合は翌日）、休日の翌日、 12月29日～翌年1月3日
観覧料	一般510円（410円）、小中高生260円（210円） ※（ ）内は20人以上の団体の場合 ※幼児及び市内の小中学生は無料 2館共通入館券（歴史博物館・高田城三重櫓） 一般620円、小中学生・高校生320円 5館共通入館券 一般1,000円、高校生500円、小中学生450円 ※歴史博物館・小林古径記念美術館・高田城三重櫓・日本 スキー発祥記念館・坂口記念館の5館共通入館券

歳出科目 (P 322～P 323)	10 款 5 項 4 目	博物館費
--------------------	--------------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
小林古径記念美術館管理運営費	40,555	55,803	△15,248

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	6,136	報償費	252
諸収入	686	旅費	659
一般財源	33,733	需用費	8,240
		役務費	1,087
		委託料	28,837
		使用料及び賃借料	1,236

小林古径及び当市ゆかりの美術作家の作品を収集、保管、展示し、あわせてこれらの作品等に関する調査研究を行う。

○企画展開催事業 8,966

【目的】

小林古径及び当市ゆかりの美術作家を中心として、多彩な美術作品を鑑賞する機会を提供し、市民の芸術文化の振興に寄与する。

【4年度目標】

入館者数：17,000人

(令和2年度：10,790人、令和3年度見込み：16,000人)

【実施内容】

- ・「古径記念室」における古径作品の展示のほか、生誕100年を迎える当市ゆかりの作家である富岡惣一郎及び斎藤真一の企画展や新潟大学教育学部高田分校芸能科に関する企画展など、年4回の展覧会を開催し、小林古径及び当市ゆかりの美術作家を始め多彩な美術作品を紹介する。
- ・展覧会にあわせて作品鑑賞会や講演会、造形講座などを開催し、展覧会への理解を深めるとともに、子どもから大人まで気軽に美術に触れる機会を提供する。
- ・令和4年度展覧会開催予定

展覧会名	会期	内容
生誕100年 富岡惣一郎展	3月26日(土) ～6月19日(日)	雪国の情景を独自の技法で表現した当市出身の油彩画家・富岡惣一郎の生誕100年を記念して、当館所蔵品を中心に富岡の画業を紹介する。また、上越市役所など市内の施設に設置されている富岡作品をあわせて紹介する。
生誕100年 斎藤真一展	7月2日(土) ～9月25日(日)	高田瞽女を約10年間にわたり取材して「越後瞽女日記シリーズ」を描いたことで知られている当市ゆかりの油彩画家・斎藤真一の生誕100年を記念して、当館所蔵の作品を中心に初期から晩年までの作品を展示する。

展覧会名	会 期	内 容
新潟大学教育学部 高田分校芸能科の 記憶展	10月8日(土) ～12月18日(日)	新潟大学教育学部高田分校芸能科で教鞭を取った教員たちの作品と卒業生の多彩な作品を展示し、かつてこの地にあった新潟大学高田分校芸能科の記憶をたどる。
コレクション展 かわいい美術	令和5年 1月4日(水) ～3月12日(日)	当館所蔵作品の中から「かわいい」という視点で作品をセレクトし紹介する。また、本展では「高校生キュレーター」として市内高校生と連携し、広報活動等の事業を実施する。
新収蔵品展	令和5年 3月26日(日) ～6月25日(日)	令和2年の開館以来、多くの方々から美術作品の寄贈・寄託を受けた。本展では絵画や彫刻、工芸などバラエティーに富んだ新収蔵品を一堂に展示する。

- ・上記のほか、令和5年度以降に計画している企画展の作品調査及び出品交渉等の開催準備を行う。

○施設の維持管理 31,589

【目的】

収蔵品及び施設の適正な維持管理を行う。

【実施内容】

- ・収蔵作品及び展示作品の適切かつ安全な保管・展示環境を維持する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来館者が安全安心に、かつ快適に学習・鑑賞ができる環境を整える。

【施設の概要】

開館時間	午前9時～午後5時(4月1日～11月30日) 午前10時～午後4時(12月1日～3月31日)
休館日	月曜日(休日の場合は翌日)、休日の翌日、 12月29日～翌年1月3日
観覧料	〈個人及び団体〉 一般510円(410円)、小中高生260円(210円) ※( )内は20人以上の団体の場合 ※幼児及び市内の小中学生は無料 〈共通券〉 5館共通入館券 一般1,000円、高校生500円、小中学生450円 ※小林古径記念美術館・歴史博物館・高田城三重櫓・日本 スキー発祥記念館・坂口記念館の5館共通入館券 〈年間入館券〉 一般1,500円、小中高生700円

歳出科目（P322～P323）	10款5項4目	博物館費
-----------------	---------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
歴史民俗資料館管理運営費	2,652	1,986	666

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	40	報酬	664
一般財源	2,612	委託料	317
		需用費	1,216
		使用料及び賃借料	14
		役務費	81
		備品購入費	358

### 【目的】

牧歴史民俗資料館が収蔵する国史跡「宮口古墳群」の出土品（新潟県指定有形文化財）を始め、水科古墳群及び菅原古墳からの出土品並びに油田関係資料を含む民俗資料を適正に保管し、展示する。

### 【4年度目標】

- ・出土品のほか、貴重な民俗資料を展示している施設の特徴を生かし、小学校等の校外学習、公民館講座等での利用を促進し、入館者数の維持を図る。
- ・入館者数：400人  
（令和元年度：656人、令和2年度：329人、令和3年度：373人）

### 【実施内容】

- ・吉川区で発見された古墳の紹介など、一部展示更新を行う。
- ・古墳公園内の園路を修繕する。
- ・古墳公園管理のため、草刈り機を更新する。
- ・市内の小中学校や公民館講座等への利用促進に向けたPR活動を行う。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来館者が安全安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

### 【施設の概要】

開館期間	4月～11月
開館日時	土曜日・日曜日・休日の午前9時～午後4時 ※平日の入館は、事前申し込みを原則とする。
観覧料	一般200円、小中学生100円（市内の小中学生は無料）

歳出科目（P322～P323）	10款5項4目	博物館費
-----------------	---------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
スキー発祥記念館管理運営費	5,161	4,838	323

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	401	需用費	1,915
一般財源	4,760	役務費	59
		委託料	3,179
		使用料及び賃借料	8

### 【目的】

日本におけるスキー発祥地として、スキー産業・スキー文化の変遷に関する資料等を保存・展示することにより、郷土に対する市民の認識を深め、教育、学術の発展に寄与する。

### 【4年度目標】

- ・歴史博物館で開催する企画展「文化財指定記念 日本スキーの黎明」と連携して施設のPRに努めるとともに、小中学校の施設利用学習に供する。
- ・入館者数：1,900人  
（令和元年度：2,984人、令和2年度：1,404人、令和3年度見込み：1,800人）

### 【実施内容】

- ・歴史博物館で開催する企画展に合わせ、館内の一部展示替えを実施する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来館者が安全安心に利用できるよう、適切な管理運営を行うとともに、収蔵資料を適切に管理する。

### 【施設の概要】

開館時間	午前9時～午後4時30分（4月1日～10月31日） 午前10時～午後4時（11月1日～3月31日）
休館日	月曜日（休日の場合は翌日）、休日の翌日、12月29日～翌年1月3日
観覧料	一般460円（310円）、小中学生・高校生160円（100円） ※（ ）内は20人以上の団体の場合 ※幼児は無料 5館共通入館券 一般1,000円、高校生500円、小中学生450円 ※日本スキー発祥記念館・歴史博物館・小林古径記念美術館・高田城三重櫓・坂口記念館の5館共通入館券

歳出科目（P 322～P 325）	10 款 5 項 4 目	博物館費
-------------------	--------------	------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
高田城三重櫓管理運営費	9,743	9,576	167

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	7,048	一般財源	2,653
財産収入	6	需用費	2,384
諸収入	36	役務費	27
		委託料	7,273
		使用料及び賃借料	59

### 【目的】

高田城址公園を象徴する施設として適切な維持管理を行うとともに、歴史博物館と連携して高田城の歴史や価値を広く周知し、教育、学術の発展に寄与する。

### 【4年度目標】

- ・高田城址公園の象徴として多くの市民や観光客が持続的に集う魅力ある施設とする。
- ・入館者数：27,000 人  
（令和元年度：32,437 人、令和2年度：12,472 人、令和3年度見込み：16,800 人）

### 【実施内容】

- ・史跡としての高田城の見どころや埋蔵文化財センターで収蔵する発掘資料を紹介する展示を通じて、歴史博物館と連携を図りながら高田城の歴史を発信する。
- ・「続日本100名城」スタンプラリーを実施する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来館者が安全安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

### 【施設の概要】

開館時間	午前9時～午後5時 ※観桜会期間中は開館時間を延長する。
休館日	月曜日（休日の場合は翌日）、休日の翌日、12月29日～翌年1月3日、1月～2月の火・水・木曜日
観覧料	一般310円（160円）、小中学生・高校生160円（80円） ※（ ）内は20人以上の団体の場合 ※幼児及び市内の小中学生は無料 2館共通入館券（歴史博物館・高田城三重櫓） 一般620円、小中学生・高校生320円 5館共通入館券 一般1,000円、高校生500円、小中学生450円 ※小林古径記念美術館・歴史博物館・高田城三重櫓・日本スキー発祥記念館・坂口記念館の5館共通入館券

提出課	教育総務課
-----	-------

歳出科目 (P 324～P 325)	10 款 5 項 5 目	水族博物館費
--------------------	--------------	--------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
水族博物館管理運営費	26,140	57,972	△31,832

主な財源		主な経費	
財産収入	6	諸収入	1
寄附金	1	一般財源	26,131
繰入金	1		
		旅費	432
		需用費	18,191
		役務費	249
		委託料	1,825
		使用料及び賃借料	5,102
		工事請負費	192

#### 【目的】

市民の教育、学術及び文化の向上を図るための学びの場として、さらには、内外から大勢が集う楽しみの場、憩いの場として水生生物の飼育展示や教育プログラムを実施するとともに、入館者の安全確保を図るため、施設の適切な維持管理を行う。

#### 【4年度の目標】

施設の安全性の確保、展示の質や効果の向上など、施設の現状、入館者の動向やニーズを踏まえた取組を実施するとともに、鯨類の飼育環境向上に資する取組を進める。

#### 【実施内容】

- (1) 施設の機能や安全性の確保  
施設の機能や安全性を適切な状態で維持するための修繕を実施する。
- (2) 展示の充実  
展示解説等の充実を図り、水族博物館としての魅力をより一層高める。
- (3) 特別展等の開催  
入館者の学習機会の増加を図るため、特別展及び企画展を開催する。
- (4) 教育普及事業の実施  
入館者の興味や学習ニーズに応えるために、バックヤードツアーや館内ガイドツアーなどを実施する。また、学校教育に資するために、小中学校と連携した環境学習プログラムや出張授業などを実施する。
- (5) 鯨類の飼育環境の向上  
鯨類をより健全に飼育展示していくために、上越市立水族博物館鯨類飼育環境検証委員会の検証結果を踏まえた取組を引き続き実施する。

【施設の概要】

開館時間	午前9時から午後5時まで（季節により変動有り）
休館日	無休
入館料	個人：大人1,800円、高校生1,100円、小中学生900円、幼児（4歳以上）500円、シニア（65歳以上）1,500円 一般団体：大人1,620円、高校生990円、小中学生810円、幼児（4歳以上）450円、シニア（65歳以上）1,350円 年間入館券：大人4,000円、高校生2,400円、小中学生2,000円、幼児（4歳以上）1,100円、シニア（65歳以上）3,300円

【指定管理者による管理】

団体名	株式会社 横浜八景島
所在地	神奈川県横浜市金沢区八景島
指定期間	平成27年4月1日から令和14年3月31日まで（17年間）
管理施設	上越市立水族博物館
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲食及び物販事業 レストラン（レストランテ ロス クエントス デル マール）、ショップ（ミュージアムショップ レガーロ）の運営</li> <li>・ 各種企画等 フィーディングプール用餌販売、館内婚礼写真撮影など</li> </ul>



提出課	文化行政課
-----	-------

歳出科目 (P 324～P 325)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
--------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
歴史文化推進費	8,442	8,872	△430

主な財源		主な経費	
諸収入	2,446	報酬	1,943
一般財源	5,996	旅費	988
		需用費	1,025
		委託料	1,212
		負担金補助及び交付金	2,356

### 【目的】

- ・ 県内最多を誇る 373 件の指定文化財の保存・伝承に努めるとともに、新たな文化財の指定を行うことにより、適切な保護を図り、活用を促進する。
- ・ 上越市「地域の宝」認定制度の運用により、有形・無形、文化財の指定・未指定に関わらず、地域住民が大切に守り伝え、心のよりどころとする文化財の次世代への継承を図るとともに、魅力ある地域づくりの一助とする。
- ・ 日本遺産の認定を受けた北前船寄港地として、パネル展の開催や北前船日本遺産推進協議会の活動等を通じて関係自治体との交流を図りながら、歴史や文化を更に周知し、市民の郷土への誇りと愛着の醸成を図る。

### 【実施内容】

- ・ 文化財調査審議会の開催
- ・ 文化財等の調査及び関連資料の収集
- ・ 指定文化財の管理、保存団体への補助
- ・ 市所有史跡の草刈り、遊歩道整備等の実施
- ・ 上越市「地域の宝」の募集・認定
- ・ 上越市「地域の宝」の次世代への継承に必要な助言、情報発信、活動団体同士の緩やかなネットワークづくりの下支え
- ・ 北前船ゆかりの県内自治体と連携したパネル展や小中学校での地域学習の実施
- ・ 北前船日本遺産推進協議会事業
- ・ 北前船寄港地フォーラムへの参加（開催地：沖縄県那覇市）
- ・ こしのくに国府フォーラムの開催
- ・ 御城印頒布による城跡の魅力発信及び周遊の促進

(参考) 文化財指定件数 373 件

種別	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡・典籍	古文書	考古資料	歴史資料	無形文化財	民俗文化財	史跡・名勝	天然記念物	計
国	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	4	1	11
県	1	2	8	8	6	0	5	1	0	1	4	3	39
市	13	16	58	10	13	30	50	41	0	39	26	27	323
計	15	18	70	18	19	30	55	42	0	41	34	31	373

- ・ 国登録有形文化財（建造物）件数 35 件
- ・ 上越市「地域の宝」件数 86 件 ※上記件数は全て令和 4 年 1 月末現在

歳出科目（P 324～P 327）	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
-------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
春日山城跡保存整備事業	13,229	13,345	△116

主な財源		主な経費	
一般財源	13,229	報酬	549
		需用費	1,155
		委託料	9,331
		使用料及び賃借料	422
		工事請負費	1,419
		原材料費	269

### 【目的】

春日山城跡を風雨等による損傷から守り、適切な維持管理を行うとともに、地域学習の教材として利活用を図る。

### 【4年度目標】

- ・土砂崩落や倒木、鳥獣被害等による遺構損傷を防ぎ、城跡の保護を図る。
- ・土の一袋運動等、市民協働で城跡保全を図る。
- ・曲輪や空堀、土塁など山城の特徴を体感できるよう修景を図る。
- ・春日山城跡ものがたり館入館者数：17,000人  
（令和元年度：26,122人、令和2年度：16,475人、令和3年度見込み：16,700人）

### 【実施内容】

- ・降雨時の状況把握などの日常点検のほか、遊歩道・法面等の修繕、低木伐採及び下草刈りを行う。
- ・植生管理や適切な雨水管理、鳥獣被害対策等について、専門家（植生・土木・災害復興科学）の指導を受けるとともに、関係課と連携を図り、城跡の保存・修景に取り組む。
- ・市民団体や地元小中学校との協働による土の一袋運動や、草刈りや松葉かきなどの美化活動等に取り組む。
- ・城跡の散策や保全活動を行う講座（年3回）を開催する。
- ・地元管理組合に春日山城史跡広場及び春日山城跡ものがたり館等の管理を委託する。  
委託先：春日山城史跡広場管理組合  
（地元5町内〔大豆、春日、中門前、谷愛宕、春日野〕で組織）  
内 容：史跡広場及び史跡保存用地の草刈り、修繕（広場内の腐食した杭・木柵等の交換）、施設管理（受付、案内、清掃業務）、大手道の維持管理等
- ・カキツバタ（大手道入口、監物堀<sup>けんもつぼり</sup>）の維持管理、春日山城跡ものがたり館排煙オペレーターの修繕等を実施する。
- ・「日本100名城」スタンプラリーを実施する。